

第31回 一般教育部セミナーの開催

『 野球を科学する 』

日時：2021年6月21日（月）

午後4時30分～午後5時30分

（45分の講演と15分の質疑応答）

場所：ZOOMでのオンライン開催 ※事前申し込み

演者：永見 智行（一般教育部 人間科学教育センター）

古くからスポーツの現場では、「キレがある／ない」とか、「腰をグッと入れてビュッと振る」などといった極めて抽象的な表現が使われます。何かしらの事象を経験、観察したコーチや選手がそう述べるわけで、大きな意味を持ちそうですが、その正体は何なのかはよく分かりません。また一見、他の選手と変わらないように感じられるけれど、なぜか成績の良い選手がいたりしますが、何が違うのかはよく分からず、指導や練習の方法はあまり代わり映えしませんでした。

他方この10年来、映像やレーダー、センサーを用いた計測技術が急速に発展し、スポーツへ応用されるようになってきました。さまざまな競技種目で選手の発揮するパフォーマンスを詳細に知ってその改善に役立てようとする試みが盛んです。しかしそもそもそれを知らずに育った選手やコーチの持つ感覚との乖離もあって、一筋縄ではいきません。

本講演では発表者の専門とする野球競技について、発表者の研究成果と、プロ球団、選手やコーチ、さまざまな分野の研究者と共同して行う取り組みについて紹介します。スポーツをしたり、見たり、考えたりする際の視点がひとつでも増えれば幸いです。

キーワード：

スポーツ科学、変化球、ノビ、流体力学、ビッグデータ分析、高速度カメラ、イップス、手指の動き、筋電図、ナノシート電極、感覚と現実、現場と研究。

視聴を希望される方は、以下によりお申し込みください。

- ◆申し込み先：教学センター事務室 一般教育課
l-syomu@kitasato-u.ac.jp
- ◆メール件名：第31回一般教育部セミナー参加申し込み
- ◆メール本文：1. 所属・氏名 2. メールアドレス
- ◆申し込み期限：2021年6月17日（木）

主催：北里大学一般教育部研究委員会
共催：一般教育部 人間科学教育センター
連絡先：一般教育部 研究委員長 和田
(wada@kitasato-u.ac.jp)